

1人1台端末について

## 資料1

各年度別1人1台端末故障等台数  
(U B o o k)

年度等	故障等台数		故障等台数のうち				不足数		
			バッテリー膨張		駆動時間1時間未満				
	増加数	割合	増加数	増加数	増加数	増加数			
R3	694	/	4.2%	5	/	/	/	/	
R4	627	/	3.8%	78	/	/	/	/	
R5 9月末	2,859	-	17.3%	2,312	-	/	/	1,206	-
10/20	5,167	2,308	31.3%	4,387	2,075	/	/	3,514	2,308
11/1	5,435	268	32.9%	4,573	186	/	/	3,782	268
11/13	5,856	421	35.5%	4,967	394	/	/	4,203	421
11/20	6,063	207	36.7%	5,158	191	/	/	4,410	207
11/27	6,301	238	38.2%	5,373	215	/	/	4,648	238
12/4	6,438	137	39.0%	5,466	93	/	/	4,785	137
12/11	6,487	49	39.3%	5,510	44	/	/	4,834	49
12/18	6,547	60	39.7%	5,566	56	/	/	4,894	60
12/25	6,705	158	40.6%	5,717	151	/	/	5,052	158
1/10	6,787	82	41.1%	5,787	70	/	/	5,134	82
1/22	6,955	168	42.2%	5,839	52	/	/	5,302	168
1/29	7,244	289	43.9%	5,868	29	/	/	5,591	289
2/5	8,470	1,226	51.3%	6,109	241	942	-	6,817	1,226
2/13	8,698	228	52.7%	6,135	26	1,127	185	7,045	228

※ 10/20以降は、故障に加えて危険性が認められるため、使用中止した端末含む。

※ (補足) 故障等台数と不足数の差

故障等台数 - 不足数 = 予備機対応数(生徒数の減含む) + 修理対応数

令和6年2月13日  
教育DX加速化委員会

県立学校におけるタブレット端末の  
検証・追加調達・更新方針について

- タブレット端末のバッテリーの駆動時間を確保するため、常駐ソフトウェアの利用制限や外部バッテリーの利用可否について、速やかに検証を行うこと。
  
- タブレット端末を追加調達する予定の「6,500台」の3分の2に当たる「4,000台（Windows OS：2,000台 Chrome OS：2,000台）」を限度とし、緊急に調達を行うこと。
  
- 現在のバッテリーに不安のあるタブレット端末については、前倒しで更新を検討する必要があるため、次期端末への更新については、選定プロセスを早急に作成し、次回委員会に提示すること。